

始業式 校長の話 4月6日

1 学年ずつ大きくなってまた、会えましたね。今日は1 年生も入学してきます。昨日は6 年生が学校に登校して、入学式の準備を立派に行ってくれました。そのおかげで、準備万端整いました。6 年生どうもありがとう。

さて、皆さんは毎日元気に学校に通ってきますが、子供はなぜ学校に行かなくてはならないのでしょうか。大江健三郎さんというノーベル文学賞を受賞した方が書いている本を読んだら、こんなことが書いてありました。

「自分の中に何があるのか知るため」

皆さんは学校に来て勉強したり友達と遊んだり行事に取り組んだりいろいろなことをやります。いろいろな事を体験することを通して、自分はこんなことができる、こんなことが好きだ、こんな性格なんだ…と自分のことがいろいろ分かってきますね。自分の中に何があるか分かると、それを活かして生活したり新たに挑戦したりすることができます。この1 年間でいろいろなことを体験し、いろいろな事に挑戦し、自分の中に何があるかどんどん発見していきましょう。

自分の中に
何が
あるのかな？



人と
つながるための
ことば

「人とつながるための言葉を身に付けるため」

学校ではたくさんの友達と一緒に勉強したり、仲良く遊んだり、力を合わせて仕事をしたり、いろいろなことをやりますね。そのために声をかけ合い、相談したり、話し合ったりします。人とつながるためには、ただ日本語を知っているだけではできませんね。一緒に過ごして活動する中でつながるための言葉を身に付けていきます。たくさんの人とつながれる

と、できることがたくさん増えると思います。この1年間で友達とたくさんの言葉を交わしてつながっていきましょう。そしてみんなで楽しい学校生活を作っていきましょう。